

基本的な考え・戦略

東海理化グループでは、「考動ひとつで変えられる“TRy for the future”」を環境スローガンとして掲げ、持続可能な社会の実現のために取り組む環境活動の方向を「環境ポリシー」に定めています。この5つのポリシーを、社員一人ひとりが常に意識し、未来の地球のために考動して取り組んでいきます。

環境スローガン



中期目標

2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする目標を設定し、そのマイルストーンとして「カーボンニュートラル戦略2030」を策定しました。製品、生産、調達、物流の4つの戦略を軸にライフサイクル全体での活動を進めています。

環境取り組みプラン

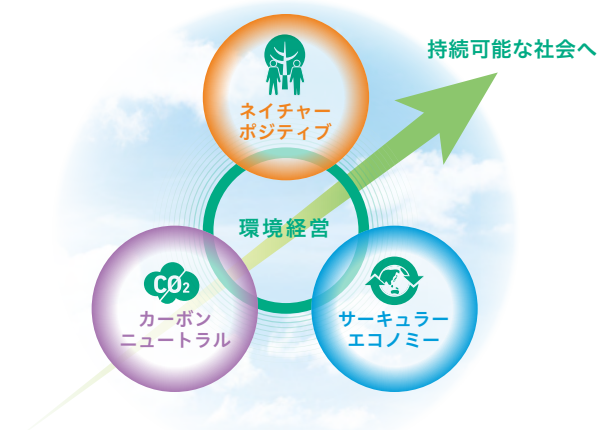
持続可能な社会の実現に貢献するため、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」の3つの柱で取り組みを推進しています。

2030年の中期目標達成に向け、2021～2025年度を第7次環境取り組みプランの期間とし、CO₂排出量、廃棄物排出量、水の取水量などの目標を設定しています。各年度の目標は、最終年度の2025年度目標からバックキャストで設定しており、目標の達成に向け全方位で取り組みを進めています。

環境ポリシー

1. 率先して全方位活動を推進
2. 未来につなぐ環境技術を追求
3. 法遵守のみに留まらず、地域の自然をより豊かに
4. 社会との輪を増やす・広げる
5. 一人ひとりが地球のための考動を

	実施事項	主要KPI
製品戦略	・LCAシステムの構築と運用 ・低CO ₂ 設計 ・化石資源プラスチックの代替推進	製品CO ₂ '40年 ▲30% '30年 ▲10%
生産戦略	・温室効果ガス代替化 ・省エネ ・再エネ/ 新エネ	工場CO ₂ '30年 ▲60% 再エネ率 '30年 25%
調達戦略	・仕入先さまのCO ₂ 低減 －改善横展によるCO ₂ 低減 －各戦略における仕入先さま連携	協会会社CO ₂ '30年 ▲30%
物流戦略	・物流の効率化 ・梱包資材の材質変更 ・トラックの燃料変更	環境対応車比率 '30年 50%



Topics

トヨタ自動車株式会社より「環境推進優秀賞」を3年連続受賞

カーボンニュートラル実現に向けて業界随一のスピード感で取り組んでいると評価いただき、「環境推進優秀賞」を3年連続で受賞しました。

生産技術では、プラスチック部材の成形、塗装、乾燥の工程を、射出成型機を用いて金型内で一貫して行うことで電力消費を削減する、型内塗装技術を日本で初めて小型部品で実現したことを評価いただきました。また、新たな分野へのチャレンジとして行っている、竹繊維を高配合した低CO₂複合樹脂材料「BAMBOO+®」の開発は、カーボンニュートラルだけでなく、地域活性化にも貢献していると評価いただきました。

